

経済分析モデルへの質問に対する回答（1/2）

	委員コメント	NERA回答	「概要」該当部分
(1)	ケイオプティコムは関西電力の100%子会社なので、新電力として独立の競争者として扱って良いのか検討が必要なのではないか。（池田委員）	需要者の観点からは、ケイオプティコムのプランと関西電力のプランは別個のものと認識されていると考えられるため、需要モデルを推定する段階では区別するのが適当です。一方、利潤最大化行動を予測する際には、関西電力とケイオプティコムの利潤を合わせて考えることが適当ですので、そのようにいたします。ただし、その他（上位10社以外の）小規模な事業者については、この事情を無視してもシミュレーションの結果には響かないので考慮しなくても差し支えないと考えます	需要家のプラン選択モデルの推定（p.4）及びみなし小売電気事業者の利潤最大化（p6）
(2)	みなし小売電気事業者の規制料金から自由料金へのスイッチングについても、スイッチング件数として考慮すべきなのではないか。（池田委員）	みなし小売電気事業者の規制料金から自由料金へのスイッチング件数についても、需要家の「腰の重さ」の程度（検討確率：需要家のプラン選択モデルのStep 1におけるパラメータc）を推定する際に考慮しております。	需要家のプラン選択モデルの推定（p4）
(3)	みなし小売電気事業者の規制料金から自由料金へのスイッチングを、新電力事業者へのスイッチングと同等に扱うのはおかしいのではないか。（松村委員）	規制料金から自由料金へのスイッチングを新電力事業者へのスイッチングと同等に取り扱うことが妥当かも含めて、モデル上の取り扱いを再度検討いたします。	需要家のプラン選択モデルの推定（p4）
(4)	市場支配力には単独行動によるものと暗黙的な協調的行動によるものの2種類があり、暗黙的な協調的な行動による市場支配力をモデル化できているのか疑問がある。（池田委員）	現状のモデルは単独行動による市場支配力の程度を予測するものになっております。エリア内での暗黙的な協調的行動、エリアを超えた暗黙的な協調的行動による市場支配力については、どのように分析するかを今後の検討内容といたします。	みなし小売電気事業者の利潤最大化（p6）

経済分析モデルへの質問に対する回答（2/2）

	委員コメント	NERA回答	「概要」該当部分
(5)	消費者の視点でスイッチングしない人がいる点に関して、「調べるのが面倒、情報がない」という回答がとても重要である。この腰の重さの要素はモデル上検討確率として考慮されているということか。（田中委員）	ご指摘の通り、モデル上「検討確率（スイッチングを検討するかどうかの確率）」（需要家のプラン選択モデルのStep 1におけるパラメータc）が腰の重さの程度を表すパラメータとなっております。	需要家のプラン選択モデル（p3の図表 1）
(6)	みなし小売電気事業者がデフォルトとなっており、新電力事業者はオプションになるのでやや不利。この点はどうか考慮されているのか。（田中委員）	みなし小売電気事業者が大半のシェアを占める状態から予測を開始していること、需要家が必ずしも毎月スイッチングを検討するとは限らない（パラメータc）モデルを採用していること、みなし小売のブランド力をモデル上許容していることから、ご指摘の事業者間の差は考慮されていると考えます。	需要家のプラン選択モデル（p3の図表 1）
(7)	地域ごとに需要者の感度が違うのではないかと考えられるが、地理的範囲についてどのように考えているのか。（宇都宮委員）	都道府県別のデータを用いて需要家行動を分析し、地域ごとにみなし小売電気事業者のブランド力が異なるモデルを用いることで、地域間の需要家の感度の違いを考慮しております。需要家のプラン選択モデル上では、Step 2における選択確率Pが都道府県ごとに異なります。なお、都道府県内での地域差については現状考慮していないため、追加的なデータの取得可能性に応じて対応を検討いたします。	需要家のプラン選択モデルの推定（p4）
(8)	新電力事業者は卸市場の価格変動リスクに晒されている程度が大きいと考えられるが、こうしたリスクの差はどうか考慮されているのか。（松村委員）	卸市場の価格変動リスクから生じる新電力事業者とみなし小売電気事業者の費用差（リスクプレミアム）は、新電力事業者の現状の価格に既に織り込まれていると考えられます。モデル上は、当該リスクプレミアムは新電力事業者が必要となる「最低限の利潤」（価格と費用の差分として算出）に含まれることになります。	新電力事業者の価格決定式（p6）
(9)	燃料価格や原子力の状況によって費用が変わってくるが、その点に関してどう考慮されているのか。（小山オブザーバー）	みなし小売電気事業者の費用を推定する際には、サンプル期間内における原油、LNG及び石炭の価格変動をコントロールしております。サンプル期間後の燃料価格のトレンド変化をシミュレーションにどう反映させるかは、今後検討いたします。原子力の状況に関しては、複数のシナリオを設定し、シナリオごとのシミュレーションを行うことを検討いたします。	みなし小売電気事業者の限界費用関数（p6）